

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベビーファンド ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド 株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）

## 運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・  
オープン（為替ヘッジなし）

第17期（決算日：2025年12月9日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

## 投資環境

期間の初めから2025年10月末にかけては、中東情勢の緊張の高まりや米政府機関の閉鎖に対する懸念などから、一時的に株価が下落する場面もありましたが、米労働市場の減速などを背景に米利下げ期待が高まったことや堅調な企業業績などを背景に上昇しました。11月に入り、株式市場を牽引していた人工知能（AI）関連株の調整が続き、市場全体の重石となりましたが、11月下旬には再び利下げ期待が高まり、株価は上昇に転じました。

当期間は、AI関連株が株式市場を大きく牽引する中で、ビューティー・ビジネス関連銘柄を含むディフェンシブ性の高い銘柄群が相対的に劣後しました。ビューティー・ビジネス関連の市場環境は、米国や中国で一部回復の兆しがみられるものの、需要全体としてはなお力強さを欠き、低調な状況が続いています。

## 運用のポイント

AIを活用した美容・ウェルネスブランドを展開するイスラエルの企業である「ODDITY TECH LTD-CL A」を新規に組み入れました。主に化粧品とヘアケア・サプリを自社ECで販売しており、独自開発のAI技術を用いて顧客の肌や髪の状態を分析し、最適な商品を提案する点が大きな強みです。さらに、動画コマース機能や、AIとバイオ技術を組み合わせた研究機関による新成分の開発など、テクノロジーを中核に据えた差別化が進んでいます。今後は新ブランドの立ち上げや国際展開により成長が期待され、固定資産の保有を抑えた高収益モデルを武器に中長期での株主価値向上を期待しています。そのほか穀物関連などビューティー以外の事業で業績のボラティリティが想定以上に大きく、テーマとの整合

性が低下したため、「CRODA INTERNATIONAL PLC」を全売却しました。

## 運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。



運用担当者  
柳原 武士

## 本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額					株組式率	株先物比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落率			
13期(2023年12月11日)	円 9,799			円 0		% △ 2.0		% 93.5	% —
14期(2024年6月10日)	10,000			697		9.2		93.4	—
15期(2024年12月9日)	8,950			0		△10.5		94.9	—
16期(2025年6月9日)	8,593			0		△ 4.0		94.8	—
17期(2025年12月9日)	8,793			0		2.3		94.7	—

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組式率	株先物比率	式率
		騰	落			
(期首) 2025年6月9日	円 8,593		% —		% 94.8	% —
6月末	8,546		△0.5		94.6	—
7月末	8,886		3.4		94.8	—
8月末	8,941		4.0		94.1	—
9月末	8,638		0.5		94.1	—
10月末	8,817		2.6		96.1	—
11月末	8,892		3.5		96.1	—
(期末) 2025年12月9日	8,793		2.3		94.7	—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第17期：2025年6月10日～2025年12月9日

## 〉当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移

(円)

(百万円)

10,000

200,000

9,000

150,000

8,000

100,000

7,000

50,000

6,000

0

2025/6/9

2025/8/5

2025/10/3

2025/12/3

■ 純資産総額：右目盛

■ 基準価額：左目盛

第17期首	8,593円
第17期末	8,793円
既払分配金	0円
騰落率	2.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.3%の上昇となりました。

## 〉基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

組入銘柄（APR CORP/KOREA、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

円に対して米ドルやユーロなどが上昇（円安）したことが、プラスに影響しました。

第17期：2025年6月10日～2025年12月9日

## 》投資環境について

### ▶ 株式市況

#### 世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2025年10月末にかけては、中東情勢の緊張の高まりや米政府機関の閉鎖に対する懸念などから、一時的に株価が下落する場面もありましたが、米労働市場の減速などを背景に米利下げ期待が高まったことや堅調な企業業績などを背景に上昇しました。11月に入り、

株式市場を牽引していた人工知能（AI）関連株の調整が続き、市場全体の重石となりましたが、11月下旬には再び利下げ期待が高まり、株価は上昇に転じました。

### ▶ 為替市況

円に対して米ドルやユーロは上昇（円安）しました。

## 》当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

### ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム

化」などに着目した運用を行いました。通貨別では、韓国ウォンやユーロなどの比率を引き上げた一方、英ポンドなどの比率を引き下げました。組入銘柄数については、期間の初めの39銘柄から期間末は40銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

人工知能（AI）を活用した美容・ウェルネスブランドを展開するイスラエルの企業である「ODDITY TECH LTD-CL A」を新規に組み入れました。化粧品やライフサイエンス向けに高付加価値素材を提供するイギリスの企業である「CRODA INTERNATIONAL PLC」を全売却しました。

## 〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第17期 2025年6月10日～2025年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	368

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

（作成対象期間末での見解です。）

## ▶ ワールド・ビューティー・オープン

### （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

## ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

ここ最近、世界のビューティー市場では、デジタルを強みに急成長する新興ビューティーメーカーが存在感を高めています。イスラエル発のOddityは、人工知能（AI）とデータ解析を駆使したD2C（自社ECサイトなどで直接顧客に商品を販売するビジネスモデル）で、マイクアップからスキンケア、ヘルスケアへと事業を拡大中です。医療グレードブランド「Brand 3」では、画像認識技術とオンライン診断を活用し、消費者一人ひとりに最適な治療を提案する仕組みを導入しました。米国のe.l.f. Beautyは、低価格帯ながら高品質な製品を提供し、着実に市場シェアを拡大。TikTokを活用した迅速な製品開発や、ヘイリー・ビーバー氏のスキンケアブランド「rhode」の買収で、ブランド力と国際展開を強化しています。韓国のA P Rも、美容デバイスとコスメ事業の両輪で成長し、海外売上比率が急拡大しています。国内ではA i ロボティクスが定期会員制ブランド「Yunth」を軸に急拡大し、先行投資を伴いながら通期で売上・利益の倍増を目指しています。AI、SNS、デジタルマーケティングを駆使し、消費者との距離を縮めるこれら企業は、化粧品産業の常識を塗り替えつつあります。当ファンドでも、こうした成長企業をポートフォリオに積極的に

組み入れ、ビューティー業界の次の潮流を捉えています。

全体としてビューティー市場は景気変動に強く、各社はデジタル・EコマースやAI活用で需要変化に対応しています。

今後は米国での消費安定化、中国の回復、新興国市場やZ世代・シニア層といった新しい需要層の取り込みに特に注目しています。

2025年6月10日～2025年12月9日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	79	0.905	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(39)	(0.441)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	2	0.026	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(2)	(0.026)	
(c)有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(d)その他費用	0	0.005	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	81	0.936	

期中の平均基準価額は、8,764円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

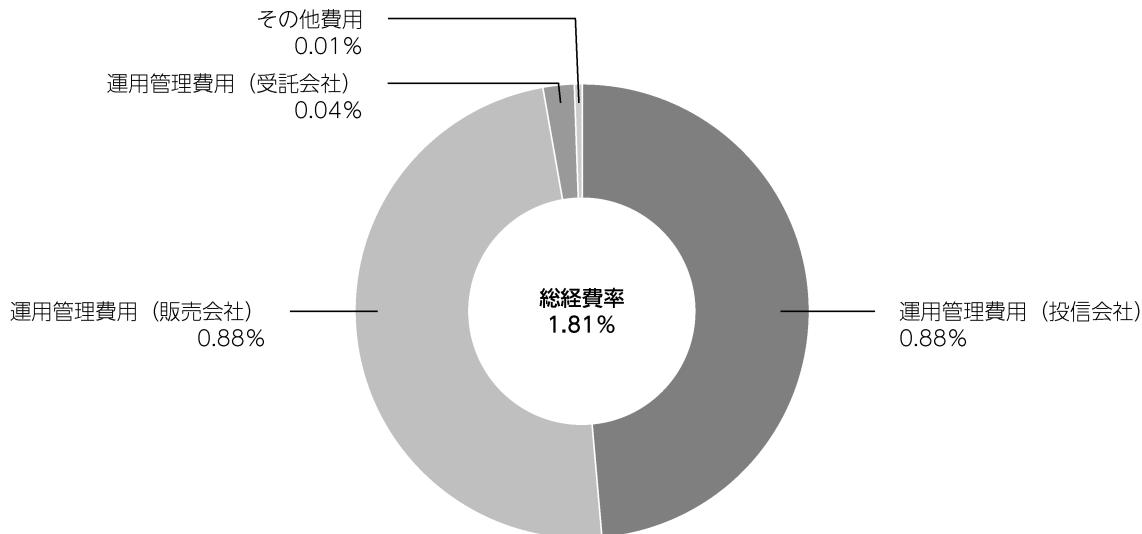
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.81%です。**



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,432,128	千円 2,644,160

## ○株式売買比率

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,891,511千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,211,854千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）&gt;

該当事項はございません。

&lt;ワールド・ビューティー・マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	百万円 432	—	—	百万円 3,459	百万円 5	% 0.1
為替直物取引	1,468	—	—	3,967	2,138	53.9

平均保有割合 89.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	4,259千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3千円
(B) / (A)	0.1%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年12月9日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 9,425,515	千口 7,993,387	千円 14,842,921

## ○投資信託財産の構成

(2025年12月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千円 14,842,921	% 98.4
コール・ローン等、その他	237,928	1.6
投資信託財産総額	15,080,849	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (14,266,203千円) の投資信託財産総額 (16,558,450千円) に対する比率は86.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=156.03円	1 ユーロ=181.59円	1 イギリスポンド=207.91円	1 スイスフラン=193.42円
1 香港ドル=20.06円	100韓国ウォン=10.62円	1 オフショア元=22.0627円	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年12月9日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	15,080,849,490
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	222,285,309
未収入金	14,842,921,360
未収利息	15,640,000
(B) 負債	2,821
未払解約金	198,915,269
未払信託報酬	52,093,209
その他未払費用	146,545,113
(C) 純資産総額(A-B)	276,947
元本	14,881,934,221
次期繰越損益金	16,924,467,159
(D) 受益権総口数	△ 2,042,532,938
1万口当たり基準価額(C/D)	16,924,467,159円
	8,793円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 19,770,238,826円  
 期中追加設定元本額 402,144,296円  
 期中一部解約元本額 3,247,915,963円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8793円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,042,532,938円です。

## ③分配金の計算過程

項目	目	2025年6月10日～ 2025年12月9日
費用控除後の配当等収益額		71,968,828円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額		－円
収益調整金額		519,560,237円
分配準備積立金額		32,820,839円
当ファンドの分配対象収益額		624,349,904円
1万口当たり収益分配対象額		368円
1万口当たり分配金額		－円
収益分配金金額		－円

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## ○損益の状況（2025年6月10日～2025年12月9日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 360,623
受取利息	360,623
(B) 有価証券売買損益	479,929,672
売買益	541,602,150
売買損	△ 61,672,478
(C) 信託報酬等	△ 146,822,060
(D) 当期損益金(A+B+C)	333,468,235
(E) 前期繰越損益金	△2,170,339,396
(F) 追加信託差損益金	△ 205,661,777
(配当等相当額)	( 519,194,889)
(売買損益相当額)	(△ 724,856,666)
(G) 計(D+E+F)	△2,042,532,938
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△2,042,532,938
追加信託差損益金	△ 205,661,777
(配当等相当額)	( 519,560,237)
(売買損益相当額)	(△ 725,222,014)
分配準備積立金	104,789,667
繰越損益金	△1,941,660,828

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ワールド・ビューティー・マザーファンド

## 《第17期》決算日2025年12月9日

[計算期間：2025年6月10日～2025年12月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月9日に第17期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		株組入比率	株式率	先物比率	式率	純資産額
		円	%					
13期(2023年12月11日)	18,667		△ 1.1		98.4		%	百万円 26,499
14期(2024年6月10日)	20,566		10.2		98.9		—	23,490
15期(2024年12月9日)	18,563		△ 9.7		95.2		—	21,646
16期(2025年6月9日)	17,981		△ 3.1		95.0		—	19,225
17期(2025年12月9日)	18,569		3.3		95.0		—	16,532

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株組 入 比	式 率	株先 物 比	式 率
(期 首) 2025年6月9日	円 17,981	% —	% 95.0	% —	% —	% —
6月末	17,902	△0.4	94.8	—	—	—
7月末	18,645	3.7	95.1	—	—	—
8月末	18,787	4.5	94.4	—	—	—
9月末	18,177	1.1	94.3	—	—	—
10月末	18,584	3.4	96.4	—	—	—
11月末	18,767	4.4	96.3	—	—	—
(期 末) 2025年12月9日	18,569	3.3	95.0	—	—	—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.3%の上昇となりました。

#### 基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

#### (上昇要因)

- 組入銘柄 (APR CORP/KOREA、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。
- 円に対して米ドルやユーロなどが上昇したことが、プラスに影響しました。

### ●投資環境について

#### ◎株式市況

- 世界の株式市況は上昇しました。
- 期間の初めから2025年10月末にかけては、中東情勢の緊張の高まりや米政府機関の閉鎖に対する懸念などから、一時的に株価が下落する場面もありましたが、米労働市場の減速などを背景に米利下げ期待が高まったことや堅調な企業業績などを背景に上昇しました。11月に入り、株式市場を牽引していた人工知能 (A I) 関連株の調整が続き、市場全体の重石となりましたが、11月下旬には再び利下げ期待が高まり、株価は上昇に転じました。

#### ◎為替市況

- 円に対して米ドルやユーロは上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。
  - ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
  - ・通貨別では、韓国ウォンやユーロなどの比率を引き上げた一方、英ポンドなどの比率を引き下げました。
  - ・組入銘柄数については、期間の初めの39銘柄から期間末は40銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

A I を活用した美容・ウェルネスブランドを開するイスラエルの企業である「ODDITY LTD-CL A」を新規に組み入れました。化粧品やライフサイエンス向けに高付加価値素材を提供するイギリスの企業である「CRODA INTERNATIONAL PLC」を全売却しました。

## ○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされた

ビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

- ・ここ最近、世界のビューティー市場では、デジタルを強みに急成長する新興ビューティーメーカーが存在感を高めています。イスラエル発のOddityは、A I とデータ解析を駆使したD 2 C（自社E Cサイトなどで直接顧客に商品を販売するビジネスモデル）で、マイクアップからスキンケア、ヘルスケアへと事業を拡大中です。医療グレードブランド「Brand 3」では、画像認識技術とオンライン診断を活用し、消費者一人ひとりに最適な治療を提案する仕組みを導入しました。米国のe. l. f. Beautyは、低価格帯ながら高品質な製品を提供し、着実に市場シェアを拡大。TikTokを活用した迅速な製品開発や、ヘイリー・ビーバー氏のスキンケアブランド「rhode」の買収で、ブランド力と国際展開を強化しています。韓国のAPRも、美容デバイスとコスメ事業の両輪で成長し、海外売上比率が急拡大しています。国内ではA i ロボティクスが定期会員制ブランド「Yunth」を軸に急拡大し、先行投資を伴いながら通期で売上・利益の倍増を目指しています。
- ・A I 、S NS 、デジタルマーケティングを駆使し、消費者との距離を縮めるこれら企業は、化粧品産業の常識を塗り替えつつあります。当ファンドでも、こうした成長企業をポートフォリオに積極的に組み入れ、ビューティー業界の次の潮流を捉えています。
- ・全体としてビューティー市場は景気変動に強く、各社はデジタル・EコマースやA I 活用で需要変化に対応しています。今後は米国での消費安定化、中国の回復、新興国市場やZ世代・シニア層といった新しい需要層の取り込みに特に注目しています。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年6月10日～2025年12月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 5 (5)	% 0.026 (0.026)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	6	0.029	
期中の平均基準価額は、18,425円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 — (178)	千円 — (—)	千株 217	千円 613,648
外	アメリカ	百株 341	千アメリカドル 2,913	百株 2,481	千アメリカドル 9,537
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	110	903
	フランス	— ( 17)	— (—)	59	2,526
国	イギリス	— (162)	千イギリスポンド — (—)	809	千イギリスポンド 2,861
	スイス	—	千スイスフラン —	131	千スイスフラン 1,191
	韓国	— (—)	千韓国ウォン — (△73,415)	—	千韓国ウォン —

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分です。

## ○株式売買比率

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	3,891,511千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,211,854千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年6月10日～2025年12月9日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	432	—	—	3,459	5	0.1
為替直物取引	1,468	—	—	3,967	2,138	53.9

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	4,777千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3千円
(B) / (A)	0.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年12月9日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
化学 (61.0%)	千株	千株	千株	千円
Aiロボティクス	44.7	223.5	223.5	256,578
日油	149.2	74.1	74.1	243,789
花王	86.4	61.6	61.6	383,583
資生堂	173.6	121.5	121.5	275,926
I-ne	96.2	48.4	48.4	64,614
医薬品 (17.5%)				
ロート製薬	161.5	143.4	143.4	351,616
情報・通信業 (21.5%)				
アイスタイル	978.8	978.8	978.8	430,672
合計	株数・金額	1,690	1,651	2,006,779
	銘柄数 <比率>	7	7	<12.1%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)						
COLGATE-PALMOLIVE CO	百株	百株	千アメリカドル	千円	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	634	685	5,215	813,764	家庭用品・パーソナル用品	
ELI LILLY & CO	405	373	3,843	599,758	家庭用品・パーソナル用品	
BATH & BODY WORKS INC	18	18	1,800	280,955	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	539	458	900	140,462	一般消費財・サービス流通・小売り	
LULULEMON ATHLETICA INC	543	482	6,676	1,041,679	家庭用品・パーソナル用品	
ULTA BEAUTY INC	35	35	643	100,416	耐久消費財・アパレル	
ABBVIE INC	123	84	4,956	773,378	一般消費財・サービス流通・小売り	
COTY INC-CL A	141	126	2,811	438,649	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTERPARFUMS INC	6,887	5,748	1,920	299,593	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	216	216	1,758	274,415	家庭用品・パーソナル用品	
PLANET FITNESS INC - CL A	147	92	1,110	173,219	素材	
INMODE LTD	236	162	1,778	277,446	消費者サービス	
ELF BEAUTY INC	790	790	1,135	177,134	ヘルスケア機器・サービス	
KENVUE INC	402	319	2,470	385,470	家庭用品・パーソナル用品	
ODDITY TECH LTD-CL A	3,656	2,870	4,810	750,570	家庭用品・パーソナル用品	
	—	173	743	116,050	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	14,777	12,637	42,574	6,642,964	
	銘柄数<比率>	15	16	—	<40.2%>	
(ヨーロッパ)						
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF	348	308	2,095	380,508	家庭用品・パーソナル用品	
BEIERSDORF AG	357	326	2,875	522,138	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	183	144	966	175,443	素材	
小計	株数・金額	890	779	5,936	1,078,090	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<6.5%>	
(ヨーロッパ・イタリア)						
INTERCOS SPA	465	465	499	90,785	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	465	465	499	90,785	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>	
(ヨーロッパ・フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	89	71	4,441	806,517	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	236	194	7,123	1,293,573	家庭用品・パーソナル用品	
HERMES INTERNATIONAL	13	13	2,786	506,004	耐久消費財・アパレル	
INTERPARFUMS SA	173	190	473	85,906	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	511	469	14,824	2,692,002	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<16.3%>	
(ヨーロッパ・スペイン)						
PUIG BRANDS SA-B	1,225	1,225	1,809	328,555	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,225	1,225	1,809	328,555	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.0%>	
ユーロ計	株数・金額	3,092	2,939	23,070	4,189,432	
	銘柄数<比率>	9	9	—	<25.3%>	
(イギリス)						
UNILEVER PLC	1,147	813	3,383	703,522	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	475	—	—	—	素材	
MAGNUM ICE CREAM CO BV/THE	—	162	182	37,962	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	1,622	976	3,566	741,485	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.5%>	
(スイス)						
GIVAUDAN-REG		4	3	千スイスフラン 1,020	197,349	素材

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(スイス) AVOLTA AG GALDERMA GROUP AG	百株	百株	千スイスフラン	千円	一般消費財・サービス流通・小売り 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
	490	361	1,752	338,987		
	185	185	3,048	589,611		
小計	株数・金額	681	549	5,821	1,125,948	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<6.8%>	
(香港) CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H			千香港ドル		一般消費財・サービス流通・小売り	
	1,624	1,624	12,188	244,493		
			12,188	244,493		
小計	株数・金額	1,624	1,624	—	<1.5%>	
(韓国) APR CORP/KOREA			千韓国ウォン		家庭用品・パーソナル用品	
	204	204	5,511,275	585,297		
			5,511,275	585,297		
小計	株数・金額	204	204	—	<3.5%>	
(中国オフショア) PROYA COSMETICS CO LTD-A			千オフショア元		家庭用品・パーソナル用品	
	1,055	1,055	7,302	161,108		
			7,302	161,108		
小計	株数・金額	1,055	1,055	—	<1.0%>	
合計	株数・金額	23,056	19,986	—	13,690,731	
	銘柄数<比率>	32	33	—	<82.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のく>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2025年12月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	15,697,511	94.8
コール・ローン等、その他	860,939	5.2
投資信託財産総額	16,558,450	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(14,266,203千円)の投資信託財産総額(16,558,450千円)に対する比率は86.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=156.03円	1ユーロ=181.59円	1イギリスポンド=207.91円	1スイスフラン=193.42円
1香港ドル=20.06円	100韓国ウォン=10.62円	1オフショア元=22.0627円	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月9日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	16,558,450,949
株式(評価額)	707,315,230
未収入金	15,697,511,282
未収配当金	150,445,231
未収利息	3,175,583
未利回り	3,623
(B) 負債	26,330,000
未払解約金	26,330,000
(C) 純資産総額(A-B)	16,532,120,949
元本	8,903,221,510
次期繰越損益金	7,628,899,439
(D) 受益権総口数	8,903,221,510口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,569円

## &lt;注記事項&gt;

①期首元本額 10,691,935,501円  
 期中追加設定元本額 35,866,474円  
 期中一部解約元本額 1,824,580,465円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8569円です。

## ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジなし) 7,993,387,560円  
 ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジあり) 909,833,950円  
 合計 8,903,221,510円

## ○損益の状況 (2025年6月10日～2025年12月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	127,901,461
受取利息	120,089,872
その他収益金	7,811,574
(B) 有価証券売買損益	15
売買益	482,294,217
売買損	2,819,418,561
(C) 保管費用等	△2,337,124,344
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 609,222
(E) 前期繰越損益金	609,586,456
(F) 追加信託差損益金	8,533,118,992
(G) 解約差損益金	29,213,526
(H) 計(D+E+F+G)	△1,543,019,535
次期繰越損益金(H)	7,628,899,439
	7,628,899,439

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約額を差し引いた差額分をいいます。